

科学のまちの子どもたち



科学の
まちの
子どもたち

けいはんな科学体験 フェスティバル2024

2024/3/2(土)

実績報告書



けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク

科学のまちの子どもたち けいはんな
科学コミュニケーション
K-Scan 推進ネットワーク

1. 概要

- 日程： 2024年3月2日（土）
- 時間： 午前の部 10:00～12:30
午後の部 13:30～16:00
- 会場： けいはんなプラザ イベントホール
- 参加費：無料
- 主催： けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク（K-SCAN）
共催： 精華町、（公財）関西文化学術研究都市推進機構
助成： （公財）京都オムロン地域協力基金
後援： 京都府山城教育局、精華町教育委員会、京田辺市教育委員会、
木津川市教育委員会、奈良市教育委員会、生駒市教育委員会、
相楽東部広域連合教育委員会、京都府立大学 精華キャンパス、
奈良教育大学、けいはんな科学共育デザインラボ、
R&Dフェア実行委員会

実施目的

けいはんな学研都市および周辺地区の研究機関、企業、教育団体、教育関係者等の協力のもと、科学工作や科学体験などを通じて子どもたちが、科学のふしぎやおもしろさを体験する機会を提供する。

実施内容

ワークショップ 24講座

参加者

応募者 1,056人

当選者 274人

京都府下だけでなく大阪府、兵庫県からも応募あり定員は午前午後各125人を予定していたが、当日欠席者を見込み、各137人ずつを当選とした。

当日参加者 約250組（同伴者含め約700人）

2. 出展者（五十音順・敬称略）

- ・大阪国際工科専門職大学 数理工タテインメント研究室
- ・京都技術士会 理科支援チーム
- ・京都精華大学
- ・京都大学理学部SACRA広報・社会連携部門
- ・京都府立大学 精華キャンパス
- ・京都府立山城郷土資料館 友の会
- ・けいはんな科学共育デザインラボ
- ・けいはんな記念公園
- ・神戸常盤大学／けいはんな科学共育デザインラボ
- ・Colt Data Centre Services（コルトデータセンターサービス）
- ・システムステラ
- ・（株）島津製作所島津ぶんせき体験スクール
- ・島津製作所 創業記念資料館
- ・消費者教育推進クラブ
- ・相愛大学
- ・同志社大学 わたしのサイエンスプロジェクト
- ・奈良県立奈良北高等学校サイエンスチーム
- ・DoiLab：奈良高専土井研究室
- ・ニデック株式会社 ニデックけいはんなテクノロジーセンター
- ・日立技術士会 サイエンス夢クラブ関西
- ・（株）堀場製作所
- ・NPO法人やましろきつづサイエンス
- ・ロート製薬株式会社 ロートリサーチビレッジ京都
- ・けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク【K-Scan】／精華町

3. 広報

チラシ配布数 18,000枚

(1) 事前チラシ小学校配布

精華町（5校）、木津川市（13校）、京田辺市（9校）、東部連合（3校）、生駒市（12校）の公立小学校、京都府立南山城支援学校（小学部）、奈良教育大学附属小学校、奈良女子大学附属小学校、奈良学園登美ヶ丘小学校、同志社国際学院初等部

(2) その他チラシ配布・配架

①後援団体（各教育委員会他）

②精華町・木津川市・京田辺市・奈良市（北部）各図書館、国立国会図書館、JR祝園駅、近鉄新祝園駅、けいはんなプラザ、すずらん館
精華町立施設（むくのきセンター・コミュニティホール）、出展者

(3) その他広報

①広報誌：精華町、木津川市、奈良市、関西文化学術研究都市推進機構

②HP：けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク（K-Scan）

③SNS：精華町Instagram、けいはんなポータル、出展者

④記者発表：精華町、関西文化学術研究都市推進機構

K-Scan HP

告知

奈良新聞
2月7日

小学生向け科学
体験の参加者募集
応募は14日まで

2024」が3月2日、精
華町光台1丁目のけいはん
なプラザで開かれる。14日
まで参加者募集中。無料。
10回目。プログラミング
ソフトの体験や、電子オル
ガン作りなど。対象学年が
設定され、会場内で配布す
る整理券が必要な場合もあ
る。午前午後に入れ替え制
で定員は各回125人。
希望者は主催のけいはん
な科学「コミュニケーション
推進ネットワーク「K-Scan」
のサイト（<https://kscan.jp/science-event/s/festival/>）から22日）
るまでに結果が届く。問い
合わせメールは同事務局「info@kscan.jp」

精華町
広報誌
2月号

けいはんな科学体験 フェスティバル2024

科学をテーマにした工作や体験など楽しいプログラムがいっぱい。
科学のふしぎやおもしろさを体験しよう！

参加
無料

2024 **3/2**

けいはんなプラザ 精華町光台一丁目7番地
①10:00～12:30 (受付 9:45～)
②13:30～16:00 (受付12:00～)
定員各回125人 定員を超えた場合は抽選 ※入替制



対象：小学生
事前
申込制

申込方法
 申込期間：2月14日(水)まで
 申込受付：2月22日(水)まで
 申込先：主催
<https://kscan.jp/>
 〒630-0192 精華町光台1丁目7番地

※詳細は「K-Scan」のウェブサイトでも、<https://kscan.jp/>
 ※お問い合わせはメールでお願いします。K-Scan事務局 info@kscan.jp
主催：けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク(代表：K-Scan) 協賛：精華町、京都市、京都府立大学、同志社大学、島津製作所、ニテック、堀場製作所、ロート製薬、はか

科学の不思議 体験しよう 来月、精華でフェス

小学生に、科学をテーマにした工作や体験などを楽しんでもらう「けいはんな科学体験フェスティバル」が3月2日、精華町光台のけいはんなプラザで開かれる。

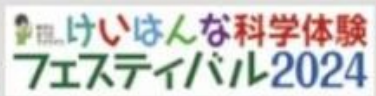
町や関西文化学術研究都市推進機構などでつくる「けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク(K-Scan)」の主催で10回目。

京都大や京都府立大、同志社大、島津製作所、ニテック、堀場製作所をはじめ、学研都市と周辺地域の大学や企業などがワークショップの24ブースを出展する。プログラムの内容は、モーター作り、機械を使った測定体験、電子部品から分析装置を使って金を探す体験など。

ワークショップは午前10時開始と午後1時半開始の入れ替え制で行う。定員は各回125人で、事前の申し込みが必要。定員を超えた場合は抽選となる。申し込みはK-Scanのホームページから受け付ける。2月14日締め切り。

(近藤大介)


京都新聞
2月9日



3/2
午前午後入替制

対象：小学生 科学工作・体験教室(ワークショップ)

時間：①午前の部 10:00～12:30 ②午後の部 13:30～16:00
 会場：けいはんなプラザ イベントホール
 定員：250人(①②各回125人) 費用：無料
 申込方法：<https://kscan.jp/> 申込締切：2月14日(水) ※1月中旬から申込開始予定
 主催・問合せ：けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク [K-Scan]
 (精華町企画調整課内 95-1900)



科学にワクワク大興奮！

精華町広報誌
4月号

ワークショップを楽しむ子どもたち

今年で10回目となる科学の祭典「けいはんな科学体験フェスティバル2024」が3月2日(土)、けいはんなプラザで開催され、小学生とその家族250組約700人が参加しました。

当日の会場では、科学体験や工作・展示など、24のブースでワークショップが行われ、参加者からは「子どもの興味がわく科学で「ふしぎ」が自然に体験できた」「自分でできた」ことが自信につながった」「高校生、大学生、研究員の方から直接教えてもらえる貴重な体験だった」などの感想がありました。

当日の様子を
動画で公開中・ KCN京都 週間地域トピックス
3/8~3/14 テレビ放送

YouTube配信 →

【報告】
・ K-Scan HP
【<https://kscan.jp/>】

京都新聞
3月3日

子どもたちが科学の面白さを体験や工作を通じて体感する「けいはんな科学体験フェスティバル2024」が2日、けいはんなプラザ（精華町光台）であった。子どもたちは各ブースを回って科学の魅力に触れていた。

精華でフェス 人工で種作り「びっくり」 子ら科学の面白さ“体感”

フェスティバルは10回目の開催。けいはんな学研都市周辺の大学や企業などが出展し、紫外線で色が変わるビーズを使ったアクセサリ作りや田柱橋でトリックアートを楽しむ体験など24ブースが集まった。午前と午後で

249人の親子連れらが訪れた。京都府立大精華キャンパスは人工種子を作るブースを設けた。参加した子どもたちは、小さく刻んだアップルミンツの茎とアルギン酸ナトリウムを混ぜた液体をスポイトでカル

シウム水に垂らし、グミのような種子を作っていた。南加茂台小5年の佐合祐大さん（11）は「人工で種が作れると知ってびっくりした。これから育てて芽が出るのが楽しみ」と種を見つめていた。



●ハーブの人工種子作りに挑戦する児童。けいはんな科学体験フェスティバルで、光の反射について学ぶ子どもたち（精華町光台けいはんなプラザ）



同大大学院生命環境科学研究科の講師、伊達修一さんは「驚きが興味につながる。子どもたちが科学が好きになるきっかけになればうれしい」と話した。（取材：堀井未里）

科学のまの子どもたちプロジェクト

科学のまの子どもたち けいはんな
K-Scan 科学コミュニケーション
推進ネットワーク

多様な「学びの機会」を提供

けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク(K-Scan)の取組



京大府立大北園高等学校



株式会社東横製作所



けいはんな科学発見デザインラボ

多種多様な科学にリアルに触れる大人気イベント 2024.3.2

けいはんな科学体験フェスティバルは、けいはんなやその周辺の研究機関、企業、教育団体、高校生や大学生等が、直接子どもたちに科学のふしぎやおもしろさを伝える機会として今年で10回目を迎えました。

当日は、定員を大幅に超える希望者の中から抽選で250組の親子が24ブースのワークショップのいずれかに参加しました。学校や家ではできない科学工作や科学体験などを自分でやってみることを通じて、楽しみながら自信につながる一日となりました。

主催：けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク(K-Scan)
共催：精華町・関西文化学術研究都市推進機構
助成：京都オムロン地域協力基金

けいはんな科学体験
フェスティバル2024



3/2（土）島津製作所 創業記念資料館のワークショップを支援しました

2024年03月13日

3月2日開催の「けいはんな科学体験フェスティバル2024」にて、島津製作所 創業記念資料館のワークショップ支援を行いました。
会場は京都府相楽郡精華町の けいはんなプラザ。参加には事前申し込みが必要だったこともあってか、学習意欲の高いお子さんが集まったイベントでした。



広々としたフロアに、計24ブースがワークショップを展開。
島津製作所 創業記念資料館のブース「円筒鏡でトリックアートをつくろう」は、午前2回・午後2回あわせて30名のお子さんにご参加いただきました。

島津製作所は約150年前から理科の実験道具を作ってきた会社であること、今回は「光の反射」を学ぶための道具「円筒鏡」を使った体験であることを説明します。



いつも身の回りで目にしている鏡も、科学のなまびが詰まったアイテムです。



つくるまなぶ京都町屋科学館の鏡をつかった展示品にも触れて、暮らしに生かされている鏡の性質に気づいてもらいます。

ものづくりパートでは、円筒形の鏡を使って、トリックアート作りに挑戦。
ワークシートのマス目を参考に、「円筒鏡に映ったときにまっすぐ見える絵」を描いていきます。



ときどき親御さんの手も借りながら、自分のイラストをトリックアートにしていきます。



力作ぞろいです！

4. 会場風景



季節のおし花でオリジナルペンたてをつくらう



青いお茶の不思議？
色をあやつる魔術師になろう！



人工種子を作ってみよう



Scratchでプログラミング体験



忍者スライムと紫外線のふしぎな関係



不思議な絵の具「メディウム」を体験しよう！



小さなメロディの小箱をつくらう



円柱鏡でトリックアートをつくらう



箱を着せ替え！？スピーカーで音あそび♪



万華鏡と白黒写真に挑戦!!



木の実の工作



3Dバーサライタとめだまロボット



紫外線ビーズで指輪を作ろう



音と楽器の科学
電子オルガンを作ろう/ギターを作ろう



電子部品を調べて宝物（金Au）を探そう！



電気を作る、学ぶ、比べる



モーターをいっしょに作ってみよう



「はかる」と「わかる」
～はかる機械を体験しよう～



手軽に宇宙を楽しもう



不思議な折り紙
たたみかえ六角形をつくらう



ぶんぶんごまを作って楽しもう！



バランストμποをつくらう



偏光板アートで遊ぼう



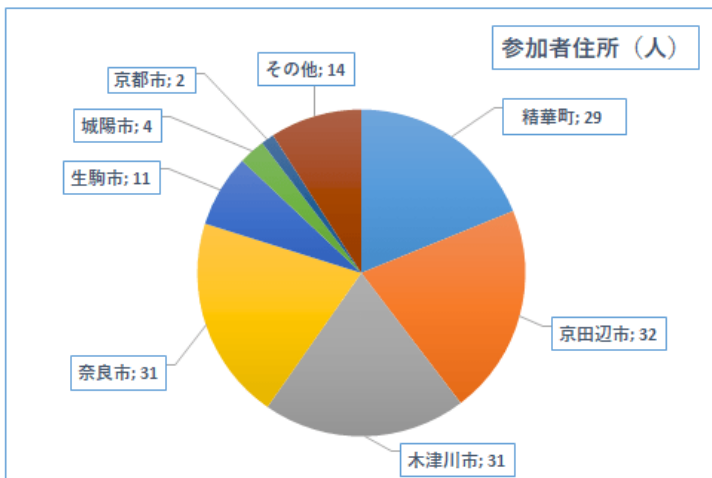
ARでセイカちゃんと
ツーショット撮影



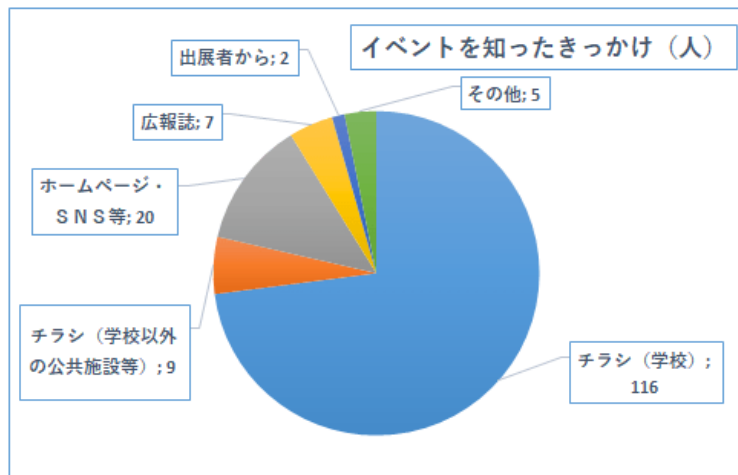
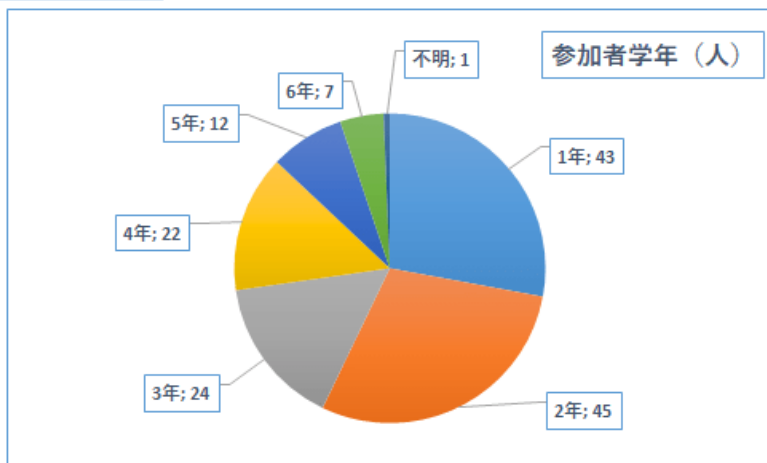
ワークショップの様子
(YouTube動画)

5. 参加者アンケート結果

アンケート総数 154

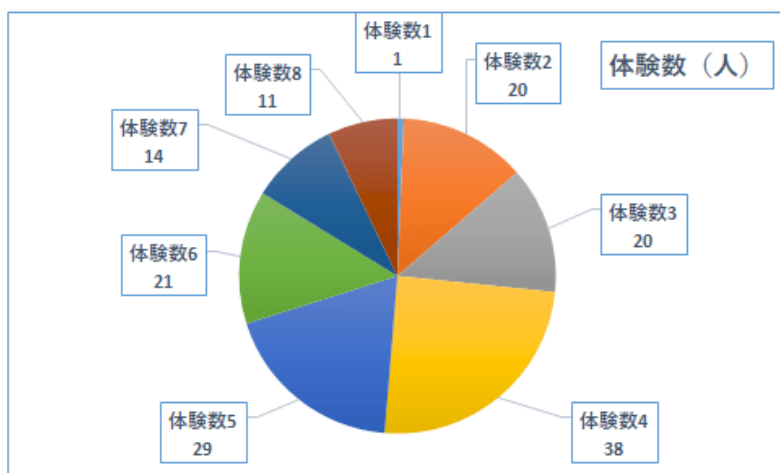


その他 (14人)
宇治市 1、守口市 1
不明 12



その他 (5人)
知人から 4
数年前のチラシ 1

体験数一人平均 4.6



アンケート自由記載

【イベント全般について】

- ・新しく知ることが体験出来て、子供の探求心を育めたと思います。
- ・まだ理科の授業をうけていない子供にも興味のある内容で科学のおもしろさが伝わった。
- ・とても子供が楽しんでいて良かったです。様々な企業の研究所がこのあたりに集まっていけばいい盛りあげようとしていて、将来子どももこのへんの会社へ行ければなあ、と思いました。
- ・科学に興味を持つきっかけになりました。
- ・時間いっぱい使って集中して取り組む姿が見られました。
- ・子供に分かりやすいようにお話しをしていただけ良かったです。
- ・思っていたより数多くのブースを体験でき、楽しめました。
- ・低学年でもわかりやすい説明だと、さらに興味を持ってくれそうです。ワークショップ全体で共通のテーマがあっても面白いかもしれません。

- ・子どもが小2なので、少し難しいかなと思っていたのですが、工作や実験など楽しい内容ばかりでした。
- ・楽しみながら新しいことを学べたのでとても良かったです。内容もしっかりとあり、大人も勉強になりました。
- ・それぞれのワークショップのテーマが、子どもたちの日常生活のどんなことに結びつくのがイメージできるとより理解が深まりそうです。分かりやすく実際にやってくれたり説明してくれたりしていただところが良かった。
- ・思っていたよりゆったり回れましたし、スタッフの方々はみなていねいに対応していただけたので、とてもいいイベントでした。
- ・子どもの興味がわく科学で、ふしぎが自然に体験でき、楽しく体験できた。また、自分でできた!!ことで楽しみながら自信にもつながり、ふしぎを自分で調べるきっかけになりそうでした。
- ・高校生、大学生、研究員などの方から、子どもが直接教えて頂ける貴重な体験でした。大人も、このような機関があることが知れて、参加できて良かったです。
- ・学校や家でできない事をたくさん体験できたので良かった。
- ・いろいろあってむっちゃたのしい。
- ・去年外れて悲しかったのですが今年は当選して本当に嬉しかったです!色んなイベントがあり子供達は楽しんでいました。他にもやりたいイベントがたくさんあったみたいなので、また当選してさせてあげたいです。

- ・身近なことを知れて良かった。もっといろいろしたかったです。
- ・時間がたっぷりあっただけ楽しめた。一つ一つのブースが全部おもしろそうだった。
- ・学生さんがとても楽しく、子供たちが楽しんでいました。
- ・人数もちょうどよくて楽しかったです。
- ・他にもやりたいことがあったけど時間がかぶっているのであまりできなかった。たくさんおもしろい企画があり、魅力的でした。
- ・時間に余裕をもって、たくさんとりくめて良かったです。これ位の人数制限だと楽しめます。
- ・手づくりが好きなのでとても楽しかったです。低学年向きは科学?とはちょっと違うのかなという内容も多かったなと感じました。
- ・時間が決まっていて、整理券が必要なプログラムだけでなく、先着順で参加できるプログラムもあったので、待っている間に他のプログラムに参加できたところが良かったです。

- ・高学年しか参加できないワークショップでも、高学年がいない時は、何年でも参加OKにさせていただいて、良かったです。(2年生ですが「15」に参加したかったので)
- ・興味を持っていた事を実際に体験し、とても楽しんでいたので貴重な体験でした。
- ・待ち時間が少なくいろいろ体験させることができて良かった。

【各ブースについて】

- ・ふしぎなおりがみがたのしかったです。
- ・人工種子をつくる時に、スポイトの使い方が難しそうだったけど、いい経験になった。
- ・バランストーンと木の実工作がおもしろかったです。
- ・メディウム体験は楽しかったけど、エプロンや手袋を利用して手で描くこともできると良かったと思いました。スタッフの方はとても親切でうれしかったです。
- ・小1ですが、モーターを作らせてもらって、楽しそうに感動していました。うれしそうに、モーターまわしています。
- ・メロディの小箱をうれしそうに持ち帰ってきました。2曲の変更できるのがすごいです。
- ・忍者スライムの先生がちょっと口が荒くて子供と親が1組途中退席していた。
- ・プログラミングがたのしかった。また参加したいです。
- ・自分で作ることの難しさと楽しさを感じられたようでよかったです。8、14はやや長めの50分というのはいかがだと思っていたが、むしろ丁度よかったです。

- ・スライムづくりで混ぜるところが楽しかったます。
- ・万華鏡作りが楽しかったです。
- ・Scratchは、自分でゲームを作りたい、改造したりできて楽しかった。モーターは、回ったときがうれしかった。にんじゃスライムは、太陽に当てるのが楽しかった。
- ・えのぐをぬるのが楽しかった。作って動かすのが楽しかった。
- ・14番のワークショップで声の出方についてのお話がおもしろかった。
- ・ぶんぶんごまが上手に作れてうれしかった。
- ・紫外線ビーズで指輪を作ろうがおもしろかった。
- ・コルトさん面白かったです。
- ・Scratchは時間が合わずあきらめていましたが、ブースの学生さんが対応して下さり、体験する事が出来ました。

- ・10番ブースの高校生の上手な話に感心しました。
- ・バランストーンでじょうずにつくれたのでよかったです。
- ・23ブース、セロハンテープだけで、こんなにきれいなのが作れたと喜んでました。
- ・プログラミングは自分で作れておもしろかった。紫外線で色が変わるしくみを知りたくなった。
- ・難しい内容、言葉だったけれど絵などがあることで分かりやすかった。スタッフさんたちがやさしく接してくれたことでその場になれることができ、楽しく学習と工作に取り組めた。
- ・人工種子を作った。初めてさわったし、種がプチプチしていて気持ちよかった。
- ・20の「不思議な折り紙たたみかえ六角形をつくろう」で、シールを組み合わせたところがむずかしかった。

【ご意見・課題等】

- ・もっと沢山参加したかった。年に何回も実施してほしい。
- ・1年生でもできるものがふえるとうれしいです。
- ・時間が重なってしまい体験できないものもあったのが残念でした。
- ・時間の拘束や制限があり、なかなかいきたいブースに上手にまわれなかった。
- ・整理券の運用がよくわからなかった。
- ・親用のイスや、アンケートをかく机などあればいいな、と思いました。
- ・小1なのでもうすこしわかりやすくやさしい単語でお話くださるとよいかと思いました。小6までひらきがあるので難しいかもですが。
- ・整理券2→3へ変更してほしいです
- ・早い時間から終了となっているブースがあったのでもう少し時間の幅、余力があればよかったです。
- ・受付を、ちゃんと時間どおりにはじめられた(勝手に早めたりしなかつた)のはよかったです。しかし、イベントホール会場に入る前にもう一度待たされるのは想定外でした。会場準備がおそかったからでしょうか。
- ・所要時間が書いてなかったところが多かったので、書いてほしかったです。
- ・かなりの狭き門だったようなので、KICKなどを会場にしてもっと規模を大きくしてほしいです。